

17年平和行進 FAX News NO 06

2017年国民平和行進大分県実行委員会 連絡先・090-2511-4414 7月10日

行進8日目

観光客で賑わう由布院の町を行進

7月9日日曜日、観光客で賑わう湯布院の町を行進。朝から激しく降っていた雨も集合の10時近くになって小降りになった。大分市からの参加者に地元の人も含めて22人で10時に由布院駅前を出発。観光客の邪魔にならないように歩道を1列縦隊での行進。行き会う観光客に声をかけるもお店の人以外反応がない。小雨の湯布院を散策するのはほとんどが外国からのお客さん。湯布院で最も賑やかな「湯の坪通り」ではお店の方や日本人の観光客から「ご苦労さん」と声をかけていただいた。

日曜日の湯布院の行進には毎年家族連れの参加者が多いが、今年も雨の中2組の家族が参加され一緒に参加した小学生も最後まで歩きとおしました。

行進9日目

団体旗なびかせ海沿いの別大国道を行進

梅雨前線も北上し天気図を見ても雲の姿はなく、今日1日は雨に遭わなくて済みそう。

天気が回復したこともあり9時の出発前から出発地の大手公園に地域や職場から続々と集合。核兵器禁止条約採択の影響か霽困気が明るい。行進5日目の「佐賀関～鶴崎」区間が“大雨特別警報”で中止になったので、今日の「大手公園～別府大学駅」区間が今年県内行進の最長区間になるが、行進には全労働、大分大学教職組、医労連、生協連、新婦人、民商、全生連、全司法や地域の皆さんなど34名が参加。この日の楽しみは海沿いの別大国道。のぼり旗を海風になびかせながら美しい別府湾の景色を眺めながらの行進は疲れを忘れさせてくれました。

大分市から別府市へ引継ぎ

午後1時、JR東別府駅で大分市から別府市に行進横断幕が引き継がれました。別府市の行進は古い町並みの残る狭い旧道を歩く。きれいに新しく整備された通りもあるが、戦前の古い木造の趣のある家も各所に残っている。行きかう街の人の挨拶もあたたかい。午後3時過ぎ終着地別府大学駅に着く。

別府市役所を訪問 懇談

副市長・副議長が署名にその場でサイン

午後4時別府市役所を訪問、市長不在で副市長が対応、核兵器禁止条約に日本政府が参加しないのは政府にも事情があると思うが、皆さんの要請には賛同します。と副市長はその場でヒバクシャ国際署名にサインしました。市長にも署名に賛同するよう重ねて要望しました。

市議会も副議長が対応し、副議長は教組出身で「原水禁」の行進にも参加し来た。みなさんと思いは一緒です。と預かっていた議長の署名とペナントをいただき、副議長に署名を求めたところ、副議長もその場でサインしました。